2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　株式会社ロココ　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　5868　　URL　https://www.rococo.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　長谷川　一彦
問合せ先責任者　（役職名）　常務取締役管理副本部長　（氏名）　水野　賢仁　　(TEL) 03(6851)0655
配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	7,165	9.3	297	△26.9	285	△32.7	147	△48.7
2025年12月期第３四半期	6,553	14.8	406	72.4	423	68.7	287	83.9

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　154百万円（△44.8%）　2025年12月期第３四半期　280百万円（75.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	39.61	39.05
2025年12月期第３四半期	77.30	76.13

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,825	2,910	60.3
2025年12月期	4,997	2,960	59.2

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　2,910百万円　　2025年12月期　2,960百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	35.00	35.00
2026年12月期	―	20.00	―		
2026年12月期(予想)				20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,304	12.1	610	16.3	603	19.5	409	29.0	109.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	3,730,400株	2025年12月期	3,727,100株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	－株	2025年12月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	3,728,269株	2025年12月期３Ｑ	3,724,927株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、本決算短信とあわせて、決算補足説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理） …… 8
（セグメント情報等） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるにおけるわが国の経済状況は、AI関連需要、大企業による設備投資を受けて、緩やかな景気回復基調が続きましたが、中東情勢による原油高や物価高の影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

情報サービス業界においては、労働人口の減少傾向や業務効率化のニーズを背景にデジタル技術を活用したDX推進に関する投資が引き続き拡大しており、AIの本格的活用の需要もあり、市場規模拡大は今後も続くものと見込まれます。

このような市場環境の中、新規案件の獲得や前年度に新たに取得した子会社により、売上は概ね好調に推移しました。利益面においては、売上増加に伴って売上総利益は増加したものの、販売費及び一般管理費が増加しました。販売費及び一般管理費が増加した要因としては、前年度にポーランドに研究開発拠点を新設して研究開発を加速させていること、障がい者就業施設としてロココファームを開設したこと、更なる売上拡大を目指してユーザー会を発足したことや広告宣伝を増加させていること、採用活動や研修に係る費用が増加していること、前年度に取得した子会社に係るのれん償却費が計上されていること等があげられます。

以上の結果、売上高は、7,165,522千円（前年同期比9.3%増）、営業利益は、297,094千円（前年同期比26.9%減）、経常利益は、285,138千円（前年同期比32.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、147,674千円（前年同期比48.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当社グループは、当期より、経営管理区分を見直し、「クラウドソリューション事業」に区分されていたファンクラブプラットフォーム運営事業を「ITO&BPO事業」に区分変更しております。

また、量的な重要性が増したため「海外事業」を報告セグメントとして記載する方法へ変更しております。

この変更に基づき、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に組み替えて開示しており、以下の説明も同様となっております。

①　ITO&BPO事業

当セグメントでは、ITサービスマネジメント事業及びカスタマーコミュニケーション事業において、新規顧客・新規案件の獲得やスポット案件の受注等により、売上が好調に推移しました。イベントサービス事業及びソリューション事業においては、コンサート入場に関連した大型の顔認証案件を受注したことやコンサートグッズ送付のスポット案件を受注したこと、新規案件の獲得により、売上が増加しました。一方、上述した要因により、販売費及び一般管理費が増加しました。

以上の結果、売上高は、4,891,124千円（前年同期比12.3%増）、セグメント利益(営業利益)は、192,181千円（前年同期比11.3%減）となりました。

②　クラウドソリューション事業

当セグメントにおきましては、前年度に新規取得した子会社の生成AI事業が当セグメントの売上増加に大きく寄与しましたが、まだ安定した利益獲得には至らない中で、のれん償却費の負担もあり、利益が減少しました。HRソリューション事業では、前年同期に比べて開発案件が減少したことにより、売上及び利益が減少しました。ServiceNow事業においては、前年同期比で新規開発案件の受注が減少し、売上及び利益ともに減少しました。システムソリューション事業の売上は微増となりました。また、上述した要因により、販売費及び一般管理費が増加しました。

以上の結果、売上高は、2,213,993千円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、137,413千円（前年同期比26.7%減）となりました。

③　その他

海外事業におきましては、外部顧客への売上高は減少したものの、グループ内の売上高が増加し、売上高合計としては増加しました。費用面では、一部の子会社で人員数増加や賃率上昇のために人件費が増加した他、為替レートの変動により為替差損が生じました。

以上の結果、売上高は、347,015千円（前年同期比4.1%増）、セグメント損失（営業損失）は、32,500千円（前年同期はセグメント利益2,270千円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（流動資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比べ157,785千円減少し、3,319,041千円となりました。主な要因は、現金及び預金が69,936千円、売掛金及び契約資産が172,636千円、それぞれ減少し、仕掛品が30,860千円、前払費用が63,317千円、それぞれ増加したことによります。

（固定資産）

固定資産は、前連結会計年度末と比べ14,473千円減少し、1,506,114千円となりました。

主な要因は、有形固定資産が合計で17,911千円、保険積立金が14,595千円、それぞれ増加し、のれんが償却により61,989千円減少したことによります。

（流動負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ151,043千円減少し、1,269,567千円となりました。主な要因は、未払費用が266,688千円、未払消費税等が58,011千円、未払金が69,492千円、それぞれ減少し、賞与引当金が203,481千円、役員賞与引当金が31,036千円、それぞれ増加したことによります。

（固定負債）

固定負債は、前連結会計年度末に比べ28,745千円増加し、645,551千円となりました。主な要因は、返済により長期借入金が9,852千円減少し、役員退職慰労引当金が33,705千円増加したことによります。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末と比べ50,159千円減少し、2,910,036千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益147,674千円の計上により利益剰余金が増加し、配当205,022千円により利益剰余金が減少したためとなります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年２月13日に公表いたしました通期業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により予測数値と異なる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,944,955	1,875,019
売掛金及び契約資産	1,357,888	1,185,252
仕掛品	785	31,645
貯蔵品	2,525	423
その他	171,028	226,898
貸倒引当金	△355	△197
流動資産合計	3,476,827	3,319,041
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	125,280	133,435
工具、器具及び備品（純額）	20,924	26,968
土地	9,506	9,506
有形リース資産（純額）	72,912	76,623
有形固定資産合計	228,623	246,535
無形固定資産		
ソフトウエア	46,756	53,511
のれん	389,428	327,438
ソフトウエア仮勘定	1,133	－
無形固定資産合計	437,317	380,950
投資その他の資産		
投資有価証券	260,722	260,722
繰延税金資産	49,904	49,405
保険積立金	258,866	273,462
その他	288,402	298,288
貸倒引当金	△3,250	△3,250
投資その他の資産合計	854,646	878,629
固定資産合計	1,520,588	1,506,114
繰延資産		
社債発行費	198	－
繰延資産合計	198	－
資産合計	4,997,614	4,825,156

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,074	166,493
短期借入金	8,887	－
1年内償還予定の社債	15,000	－
1年内返済予定の長期借入金	233,088	221,170
リース債務	21,369	21,946
未払法人税等	103,753	73,434
未払消費税等	178,269	120,257
未払金	130,571	61,078
未払費用	389,398	122,709
賞与引当金	11,504	214,986
役員賞与引当金	－	31,036
受注損失引当金	120	75
その他	151,573	236,377
流動負債合計	1,420,611	1,269,567
固定負債		
長期借入金	419,148	409,296
リース債務	60,953	64,948
資産除去債務	40,211	40,599
退職給付に係る負債	8,047	8,057
役員退職慰労引当金	85,695	119,400
その他	2,750	3,250
固定負債合計	616,806	645,551
負債合計	2,037,417	1,915,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	642,596	642,720
資本剰余金	576,099	576,223
利益剰余金	1,682,495	1,625,146
株主資本合計	2,901,191	2,844,090
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	58,999	65,944
その他の包括利益累計額合計	58,999	65,944
非支配株主持分	5	2
純資産合計	2,960,196	2,910,036
負債純資産合計	4,997,614	4,825,156

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	6,553,423	7,165,522
売上原価	4,223,951	4,540,484
売上総利益	2,329,471	2,625,038
販売費及び一般管理費	1,923,228	2,327,944
営業利益	406,242	297,094
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,948	3,927
助成金収入	7,194	696
保険配当金	4,111	7,099
退職給付に係る負債戻入額	7,708	－
為替差益	1,612	－
その他	3,143	4,027
営業外収益合計	25,719	15,751
営業外費用		
支払利息及び社債利息	5,563	10,353
社債発行費償却	223	198
営業外手数料	2,154	2,116
為替差損	－	9,940
その他	391	5,098
営業外費用合計	8,333	27,707
経常利益	423,628	285,138
特別損失		
固定資産除却損	704	169
特別損失合計	704	169
税金等調整前四半期純利益	422,924	284,968
法人税等	134,977	137,298
四半期純利益	287,946	147,670
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	287,946	147,674

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	287,946	147,670
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,624	6,944
その他の包括利益合計	△7,624	6,944
四半期包括利益	280,322	154,615
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	280,321	154,618
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△3

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日　至 2026年９月30日）
税金費用の計算	税金費用については、当第３四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注) ２
	ITO&BPO事業	クラウドソリューション事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,354,534	2,100,736	98,152	6,553,423	―	6,553,423
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	235,311	235,311	△235,311	―
計	4,354,534	2,100,736	333,464	6,788,734	△235,311	6,553,423
セグメント利益(注) １	216,613	187,359	2,270	406,242	―	406,242

(注) １．全社共通の費用は一定の比率で各セグメントに配賦しております。
２．セグメント利益は営業利益と一致しております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注) ２
	ITO&BPO事業	クラウドソリューション事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,891,124	2,206,765	67,632	7,165,522	―	7,165,522
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	7,228	279,382	286,611	△286,611	―
計	4,891,124	2,213,993	347,015	7,452,133	△286,611	7,165,522
セグメント利益又は損失(△)(注) １	192,181	137,413	△32,500	297,094	―	297,094

(注) １．全社共通の費用は一定の比率で各セグメントに配賦しております。
２．セグメント利益は営業利益と一致しております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３　報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当期より、経営管理区分を見直し、「クラウドソリューション事業」に区分されていたファンクラブプラットフォーム運営事業を「ITO&BPO事業」に区分変更しております。

また、量的な重要性が増したため「海外事業」を報告セグメントとして記載する方法へ変更しております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第３四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき組み替えて開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自2025年１月１日 至2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自2026年１月１日 至2026年９月30日）
減価償却費	36,496千円	48,964千円
のれんの償却額	8,546千円	61,989千円